

放射線によるがん医療の今 「緩和ケアにおける放射線治療と看護」

がん看護専門看護師
後藤志保

s.goto@jfcr.or.jp



公益財団法人 **がん研究会**
JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH



第24回日本緩和医療学会学術大会 COI 開示

演題名：放射線によるがん医療の今
「緩和ケアにおける放射線治療と看護」
発表者名：後藤 志保

演題発表内容に関連し、
主発表者及び発表責任者には、
開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

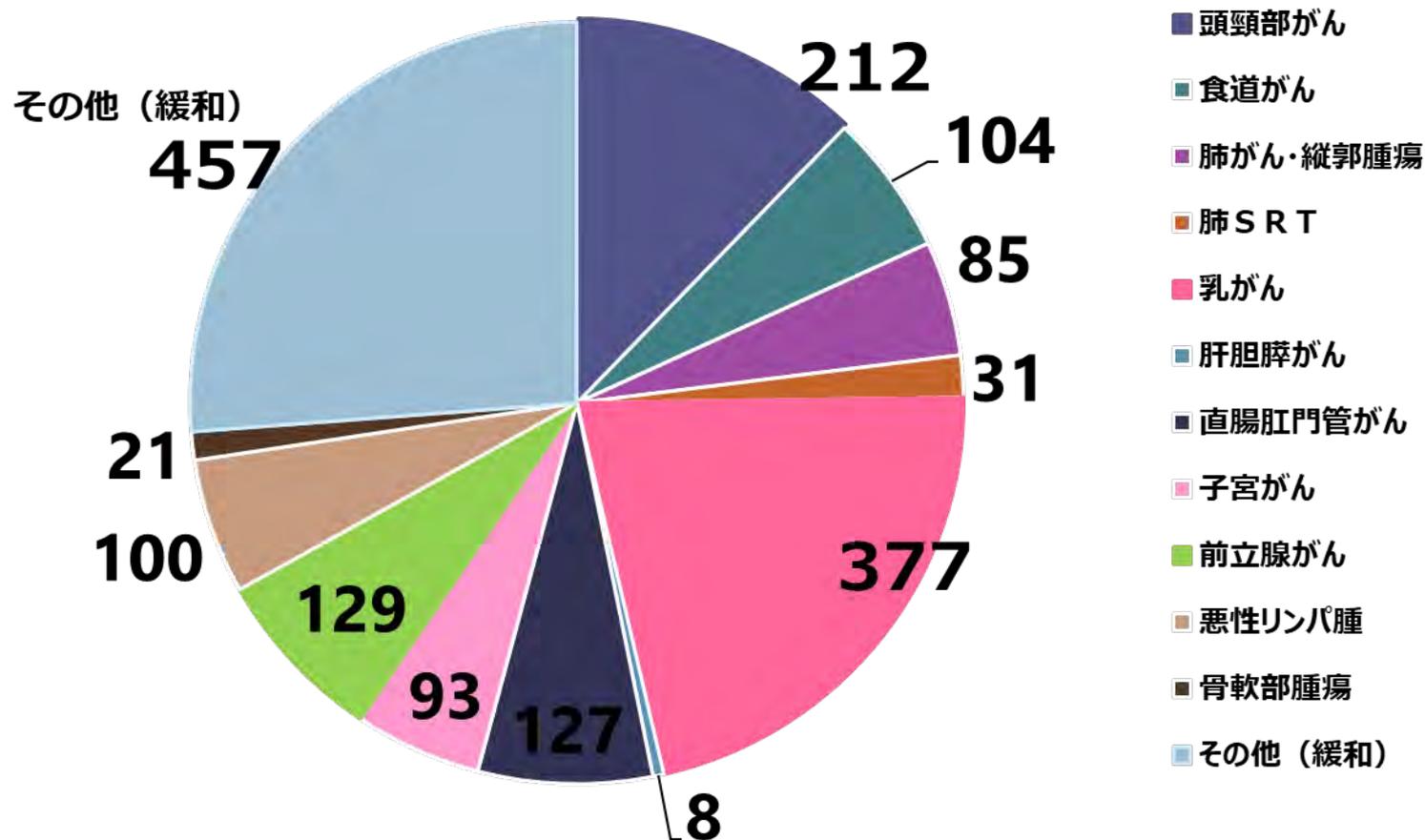


がん研有明病院施設概要

- 1908年：創立
- 1934年：日本で最初のがん専門の研究所と病院として診療開始
- 2005年：臨海副都心有明に移転
- 病床686床
- 緩和ケア病棟25床
- 1日外来患者数1700名/日
- 年間手術件数 8800件
- 1日平均放射線治療患者
150名/日

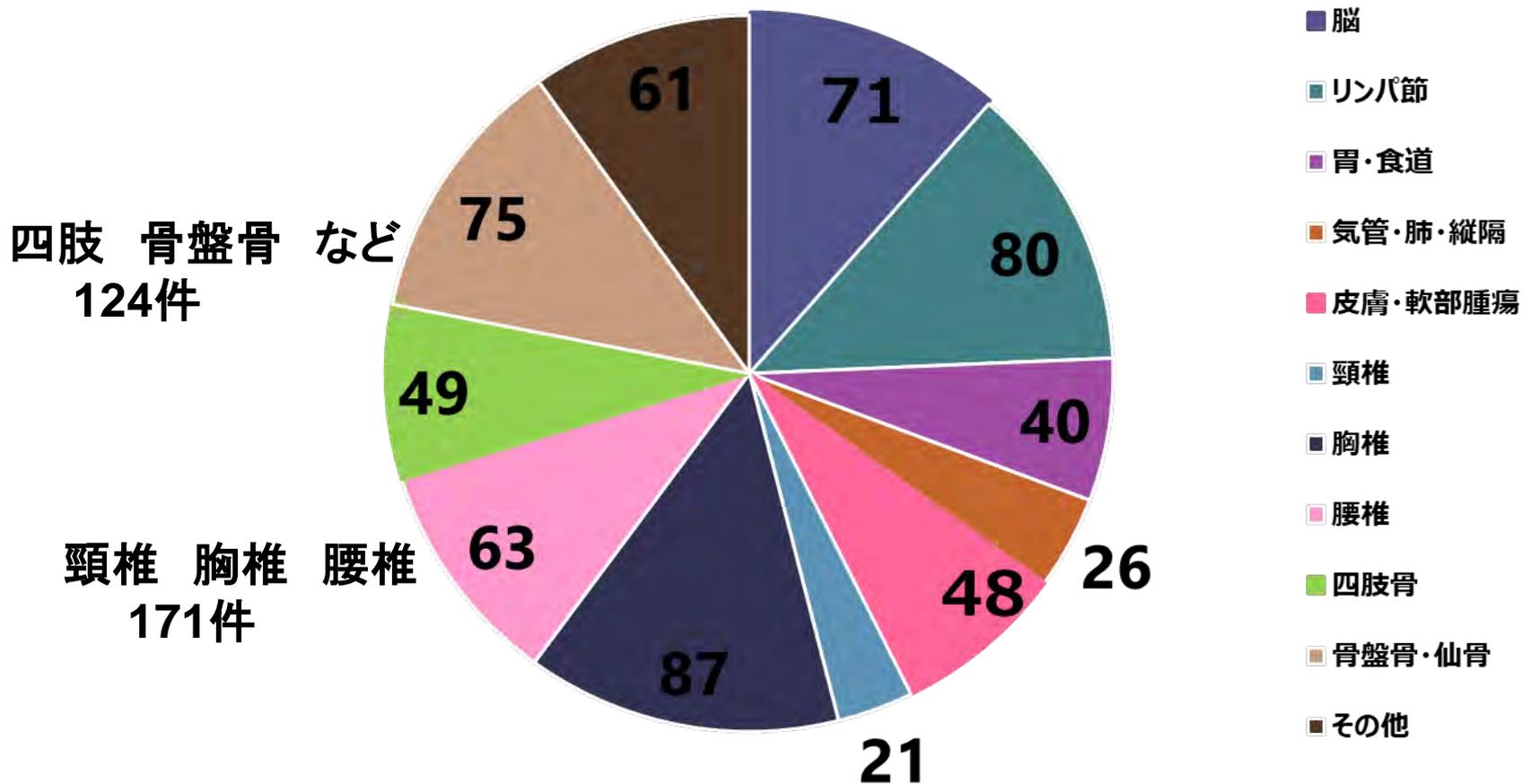


がん研有明病院 2018年度診療実績1760件



2018年度 緩和治療実績618件/466名

JASTROデータベースをもとに集計



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

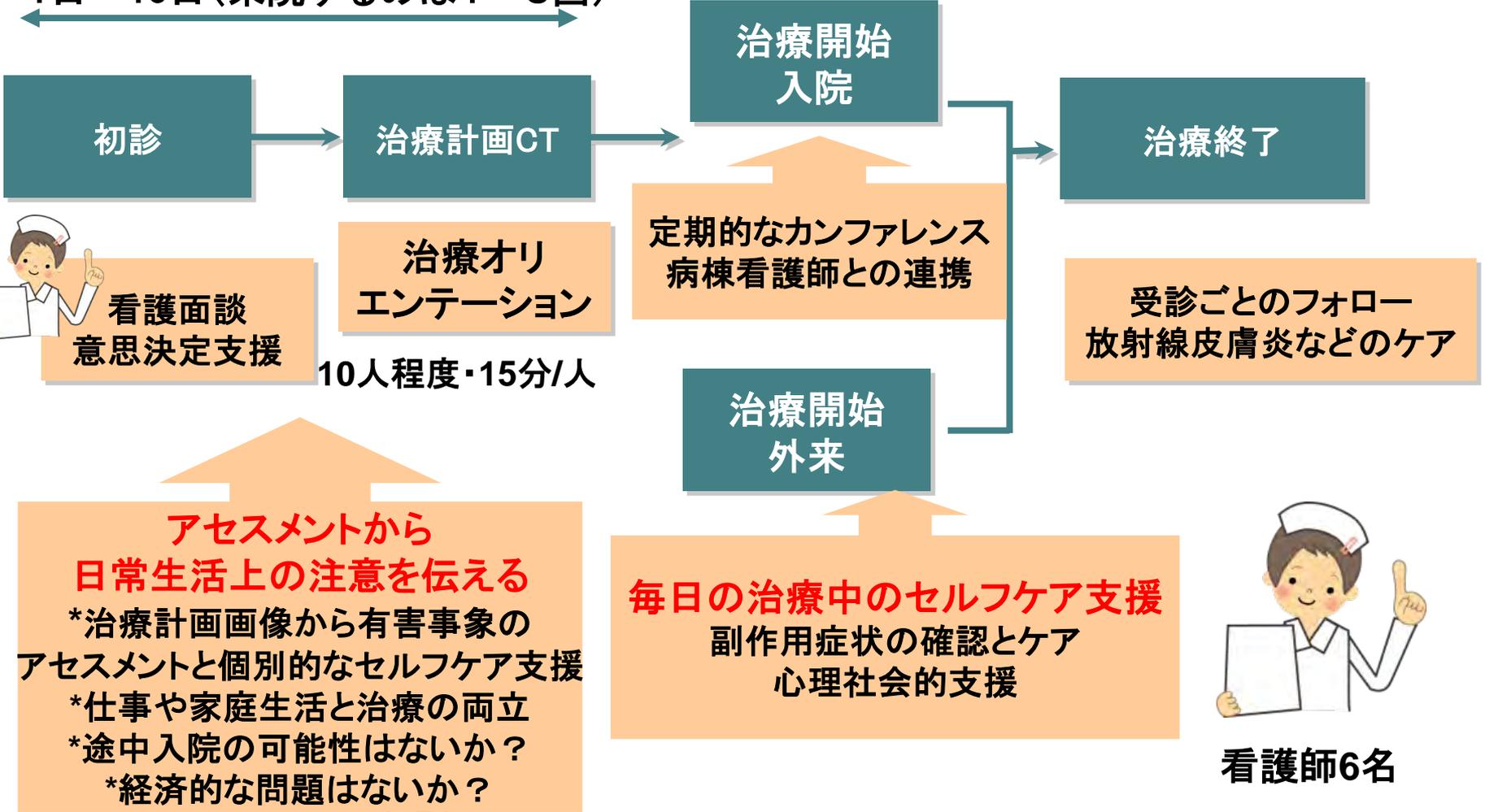
放射線治療における看護師の役割は？

- 患者に治療体験をわかりやすく伝える
- 放射線治療中の症状に対応できるよう
セルフケア支援、症状マネージメントを図る
(治療前の症状マネージメント、治療後も重要)
- 放射線科医師、放射線診療技師、事務員、病棟・
外来看護師など患者を取り巻く医療者と連携し
患者がスムーズに治療を受けられるよう支援する



放射線治療を受ける患者さんへの看護 (放射線治療室の看護師の取り組み)

1日～10日(来院するのは1-3回)



放射線治療のプロセス（シミュレーター室）



固い寝台で体位を保持できるか

固定具は？

治療を目的とする範囲には、しっかりと照射すること
リスク臓器（有害事象の発生が予測されるために照射を避けたい臓器）には可能な限り照射をしないように治療計画を立てる



治療体位が保持できるか 最後まで完遂できるよう症状コントロール



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

骨転移の事例（痛みのコントロール）

- 60歳代 男性
- 食道癌術後リンパ節再発に対し、化学放射線療法実施（60Gy）
- 1年後Th5-7骨転移もしくはリンパ節転移骨浸潤、脊柱管内進展
Th5-7周囲 リンパ節に対し放射線照射
(強度変調放射線治療 VMAT40Gy/20Fr)



《背部痛に対して》

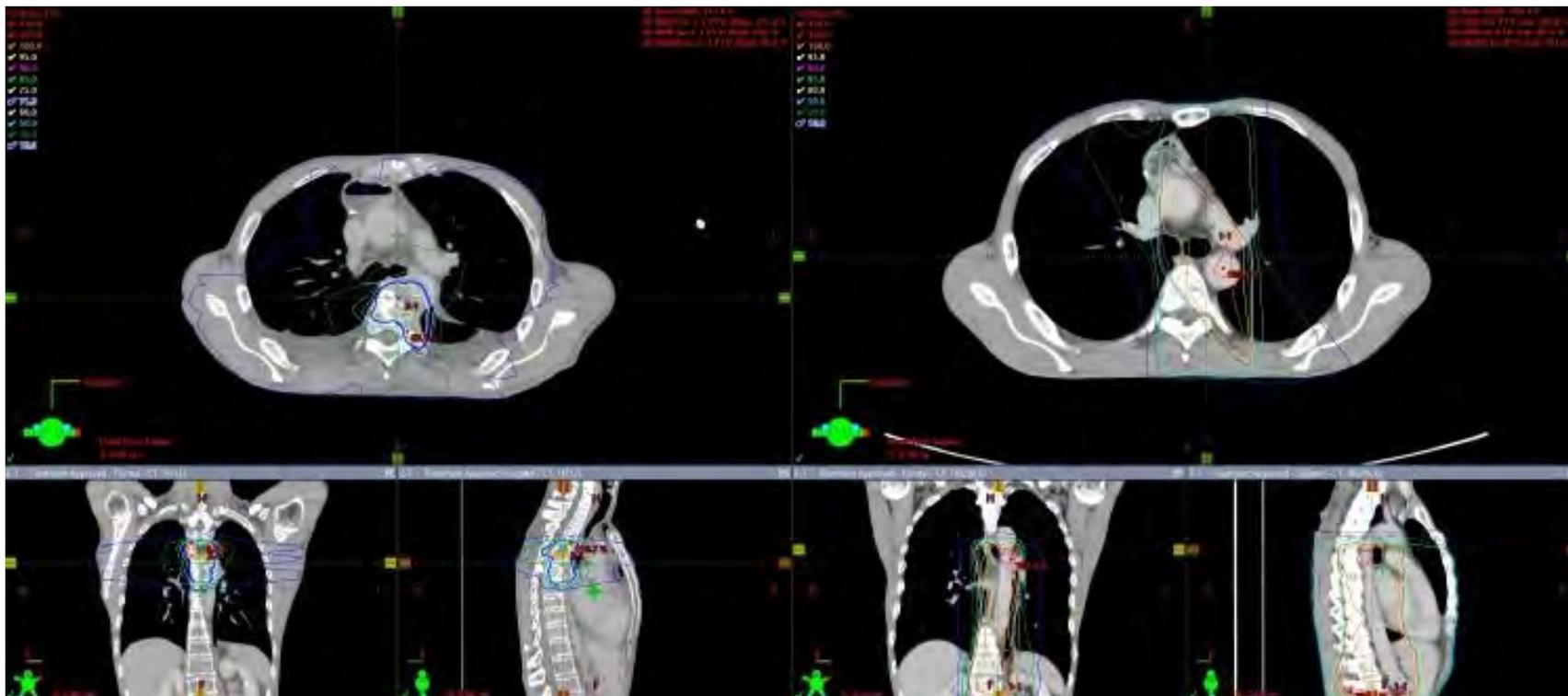
治療計画CT時

MSコンチン®90mg/日定時内服

30分前にオプソ®10mg服用

バックロック作成途中で痛みが増強し
「仰臥位が辛い」と中断

骨転移の事例 治療計画画像



Th5-7 放射線治療 (VMAT)
40Gy/20Fr

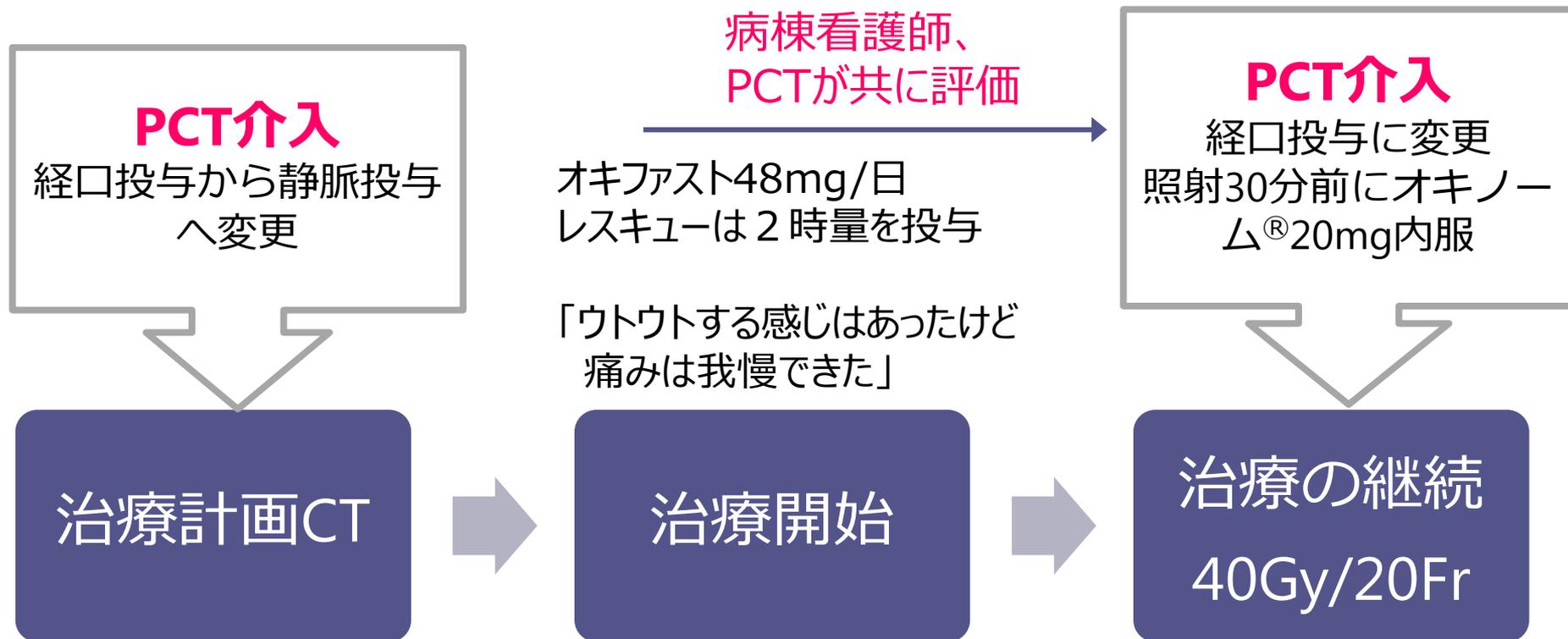
食道 放射線治療 (多門照射)
40Gy/20Fr



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

骨転移の事例 病棟 緩和ケアチームとの連携



「姿勢を時々変えることができれば大丈夫なんだけど・・・」
治療体位保持の必要性を説明し固定具作成

「だんだん痛みもよくなってきたけど、足が麻痺するかもってきいたら足がしびれるような気がする」
照射中の痛みの状況や治療体位保持の様子を病棟やPCTと共有し薬剤コントロールを図る



脳転移に対する定位放射線治療（脳SRT）

- 50歳代 女性
- 乳癌
- 脳転移（右側頭葉 左後頭葉）2カ所
- 放射線治療歴
 - 201X年 右温存乳房照射 60Gy/30Fr
 - 201X+3年 左腸骨転移 30Gy/10Fr
 - 201X+8年 今回脳転移に対しSRT実施 35Gy/ 5 Frで開始

JCS 0 PS 0 頭痛 嘔気、ふらつきなし

平日はフルタイムで会社勤めをしている

左腸骨は放射線治療後 痛みのない状態が続いている



脳定位放射線治療（SRT）の治療計画画像



右側頭葉底部と
左後頭葉にそれぞれ皮質下
に16mmの結節あり



5カ月のMRI検査

右側頭葉底部は縮小
左後頭葉は消失



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

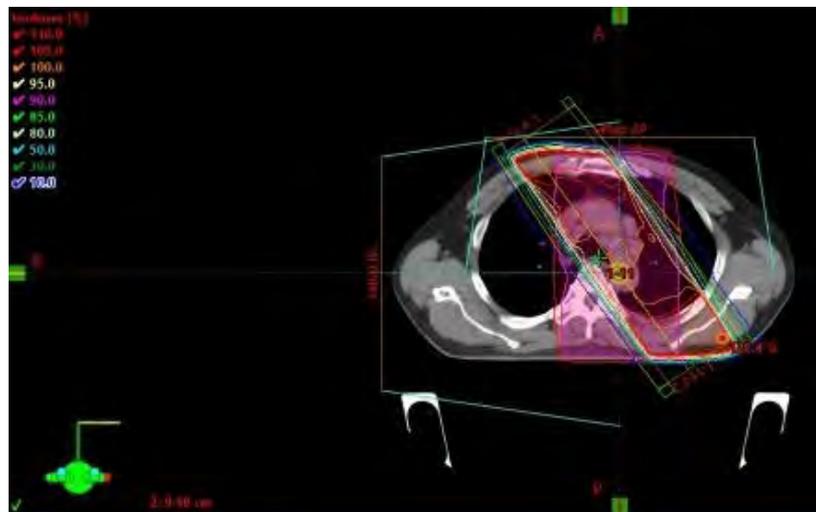
© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

療養の場の選択について患者、家族との関わり

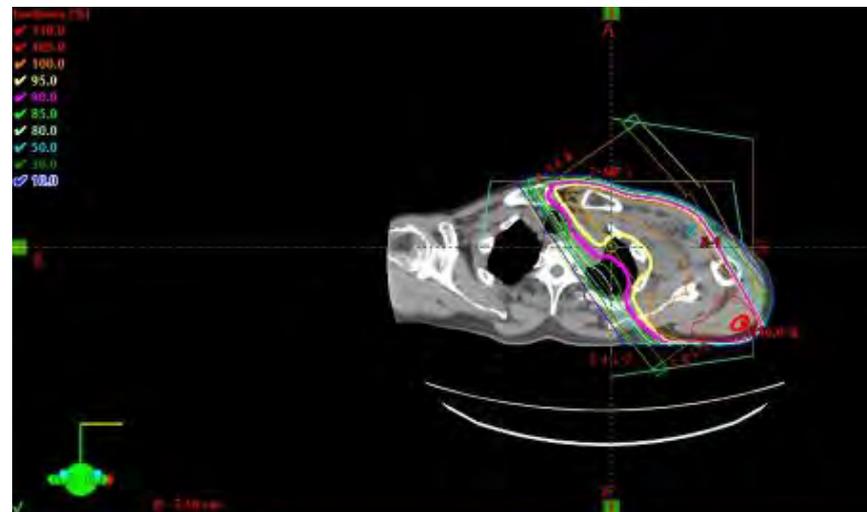
- 60歳代 男性
- 肺腺癌化学放射線療法後再発 多発リンパ節転移 骨転移
- リンパ節転移
- 放射線治療歴
 - ①201X年 肺腺癌化学放射線療法 60Gy/30Fr
CDDP/TS1 # 3-4 PEM # 1-13 Nivolumab # 1-26 DTX
201X+4年 間質性肺炎の毒性にて薬物療法は中止
 - ②201X+4年 左頸部 腋窩リンパ節転移 45Gy/18Fr
C7-Th4レベルで脊柱管周囲に腫瘤形成 硬膜嚢神経根圧排
 - ③201X+5年 C6-Th5転移 25Gy/10Fr
 - ④201X+5年 左下顎+左上頸部 39Gy/13Fr
Th2-3レベルの脊柱周囲腫瘍による脊髄圧迫の進行 下肢麻痺



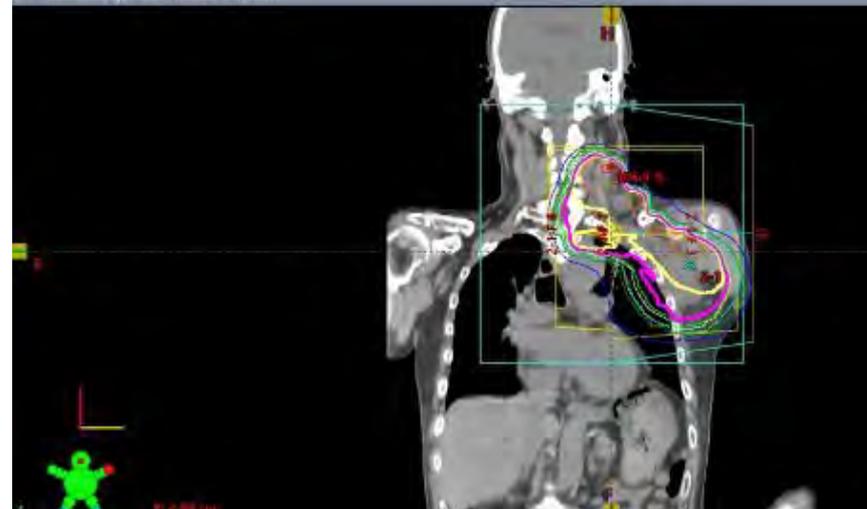
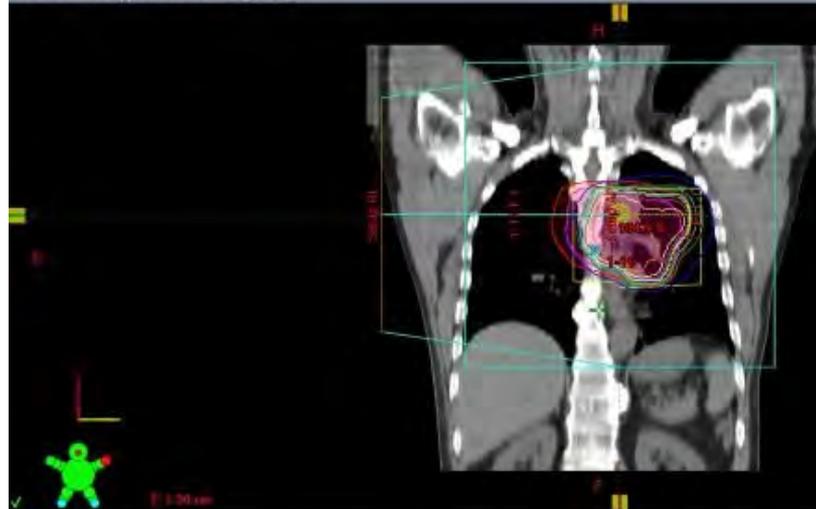
肺癌の事例 治療計画画像



1-11 - Treatment Approved - Frontal - CT_141007_E1



1-11 - Treatment Approved - Frontal - CT_10907



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

療養の場の選択について患者、家族との関わり

左頸部腋窩リンパ節転移
45Gy/18Fr

C6-Th5転移 25Gy/10Fr

左下顎 + 左上頸部
39Gy/13Fr

「こんなに元気なのに治療はもうできないんですかね 先生も半年から1年くらいって言うんですが・・・」

「このまま調子よかったら抗がん剤もう1回やるかっていわれてたんですけどね」

「病院も遠いし自宅も母の介護をしたときに改築した離れがあるので自宅で過ごしたほうがいいかなと思っています」

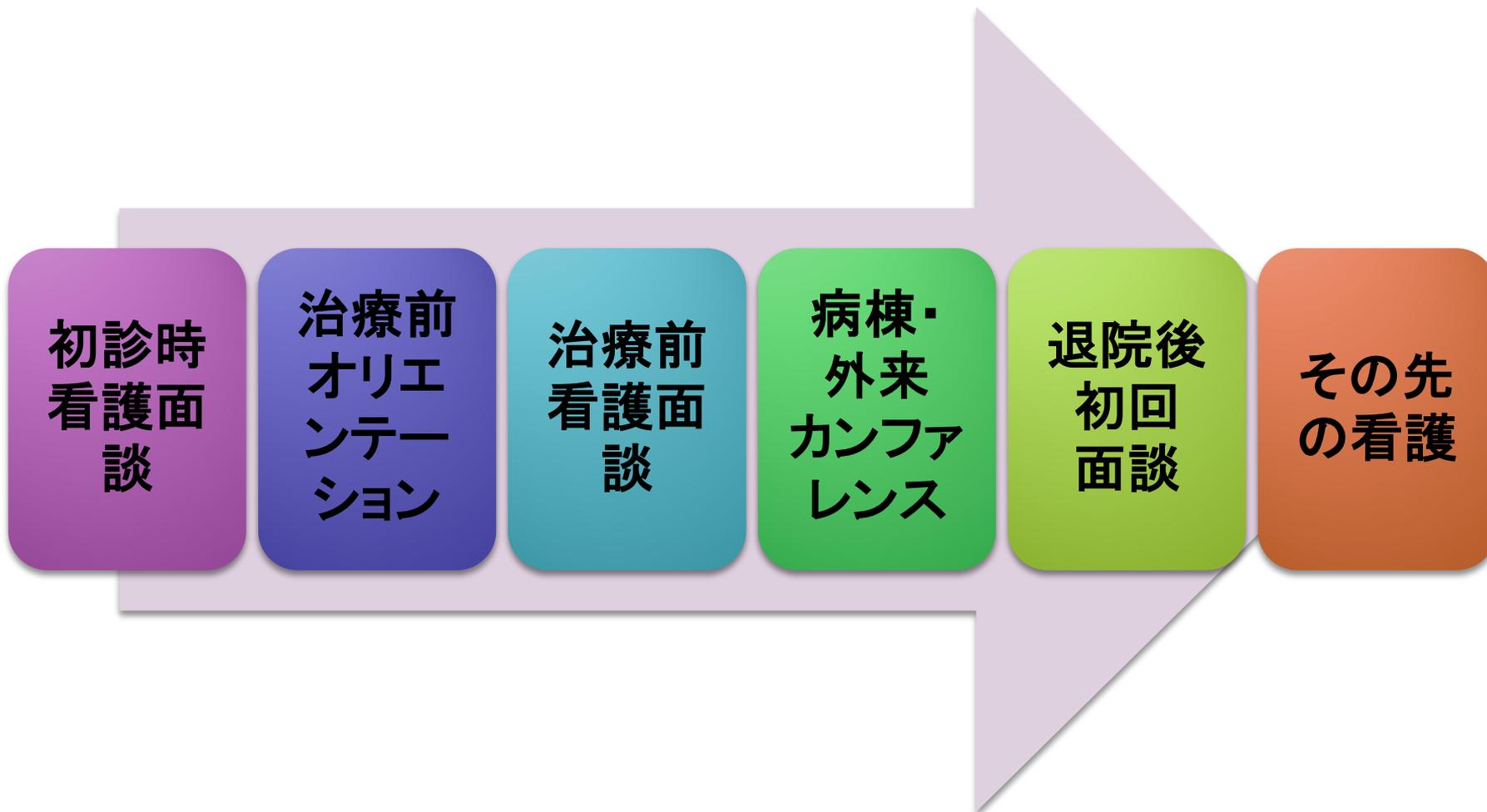


症状緩和目的での放射線治療の特徴

- 痛みや呼吸苦など症状を有する場合が多い
- 予後や今後の治療方針に対する不安がある
- 治療による有害事象だけでなく現病による状態の変化が起こりやすい
- 骨転移や脳転移に対する治療により症状がコントロールできれば長期的予後が見込める場合がある



当院における外来・病棟継続看護システム



継続看護

<病棟・外来・治療部カンファレンス>

- 放射線治療中の患者ケアに関すること全般を対象に実施
- 昼カンファレンスの時間を活用して、放射線治療部の看護師が病棟カンファレンスに参加
- 治療計画画像を参照しながら個別性のある看護を検討
- 外来-治療部-入院看護が継続されるための情報共有



看護師支援体制（教育と看護の質向上）

<放射線療法委員会>

- 各フロアから1名，外来，放射線治療部(がん看護専門看護師)各1名と委員長，オブザーバー、計12名で構成
- 1回/月 14:30-16:30

● 活動内容

症例検討会 「放射線療法看護を語る会」

放射線療法マニュアルの整備

放射線看護に関する看護基準、記録についての検討

放射線治療部見学研修の実施、専門看護コースの運営

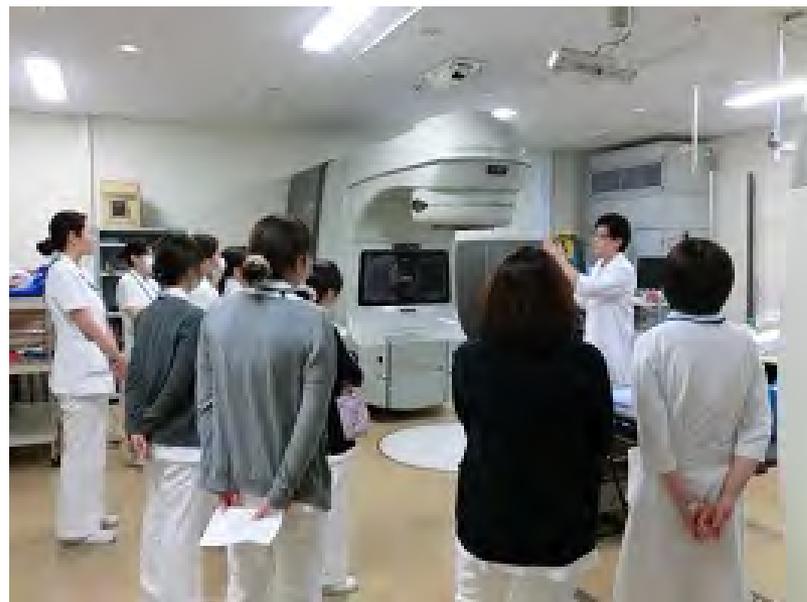
放射線看護に関する院内看護研究



看護師支援体制（教育と看護の質向上）

＜放射線治療部見学研修＞

- 年に4回実施
合計80名の看護師が参加
 - 治療計画CT室
治療室での体験を通して
患者の気持ちを理解する
- * 診療放射線技師の説明
⇒ チーム医療を学ぶ



＜専門看護コース；基礎コース＞

＜専門看護コース；実践コース＞

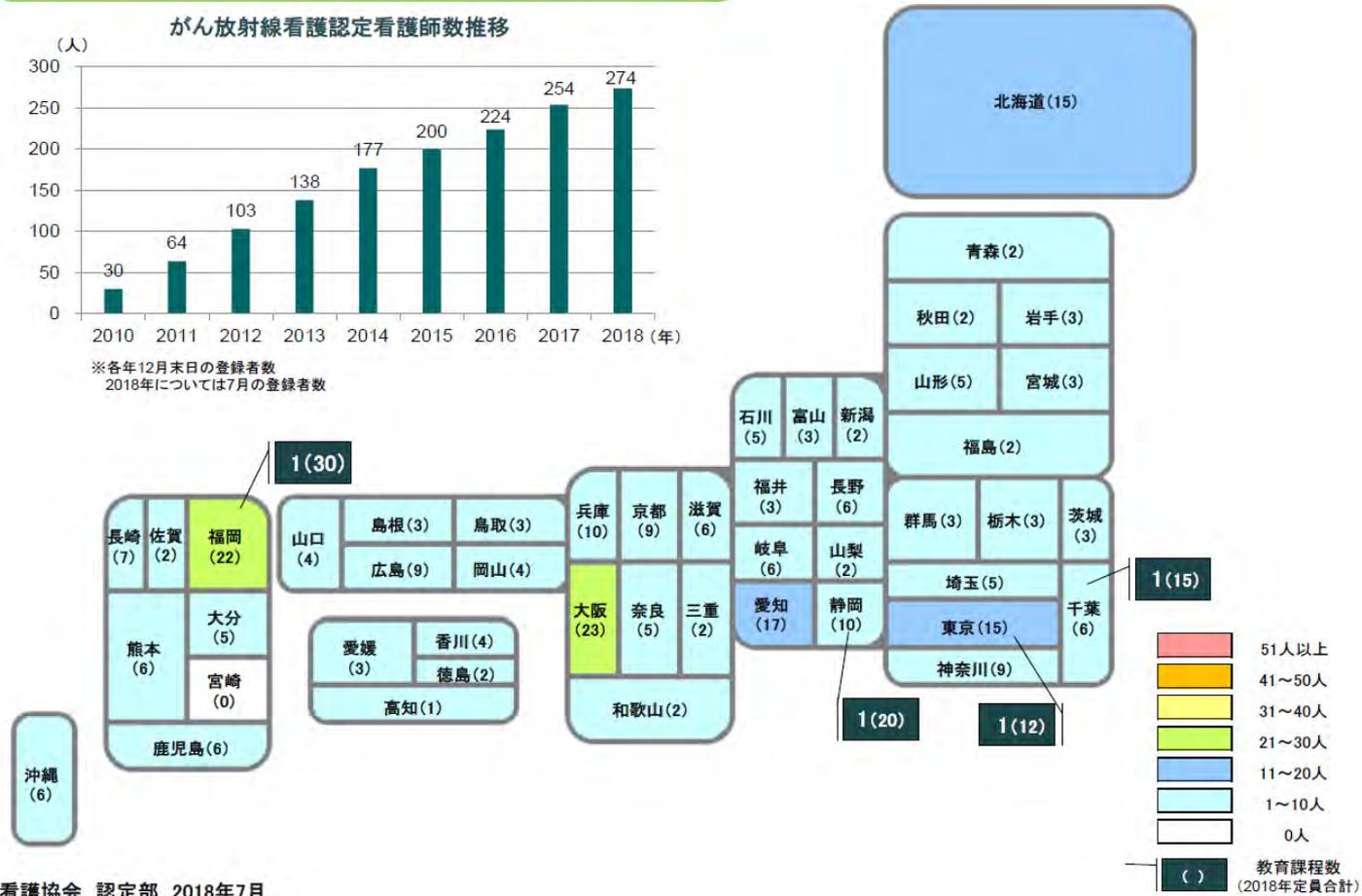


がん放射線療法認定看護師に期待される役割

がん放射線療法看護認定看護師数 274名



※各年12月末日の登録者数
2018年については7月の登録者数



日本看護協会 認定部 2018年7月



JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

© 2013 JAPANESE FOUNDATION FOR CANCER RESEARCH

日本がん看護学会 SIG（特別関心活動グループ）活動



SIGフォーラム：(がん放射線療法看護)

2. 活動紹介

～「謎」に迫る交流集会～

- 第30回 転移性骨腫瘍の「骨折」と「易骨折」
- 第31回 骨転移看護の謎
- 第32回 放射線皮膚炎ケアの謎
- 第33回 あなたならどうする？事例から考える
放射線皮膚炎と粘膜炎

がん放射線療法看護に関心のある看護師、認定看護師、がん専門看護師
約60名が所属し、学会での交流集会開催、勉強会等を通じて
メンバーの交流と看護の研鑽に努めています





JASTRO-JSCN合同がん放射線治療看護セミナー

- 2006年より開催（年2回）
- 第27回までに5000人余が参加
- 最近のテーマ
 - 「最近の薬物放射線療法と皮膚粘膜反応」
 - 「頭頸部放射線治療と看護」
 - 「緩和ケアと放射線治療」
- 第29回 2019年10月18日（土）10：30-
「胸部領域の放射線療法看護」
メルパルク京都にて開催します



緩和ケアにおける放射線治療と看護

- **治療方法が進化（高精度化）**

スムーズな治療が行えるよう、患者の状態を理解し、事前に必要な介入を行う

- **様々な治療方法には理由がある**

治療内容を理解して患者にきちんと説明する

- **柔軟な対応**

お互いの専門性についての理解
コミュニケーションを円滑に

**連携のとれた治療は、
患者さんの安全安楽につながる**

